

琉球の風

松村英治(陶器)
左藤玲朗(硝子) 二人展
七月二十七日(土) ～ 八月六日(火) 会期中無休



まつむら えいじ さとう れいろう りゆきゆう かぜ
 松村英治・左藤玲朗 二人展 ～琉球の風～

2013年7月27日(土)～8月6日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 7月27日(土)

夏の器をテーマにした「琉球の風」。松村英治さんは沖縄の民芸を彷彿させる三彩の器を、左藤玲朗さんはレトロな沖縄イメージのガラスを出品します。やちむんと呼ばれる沖縄の焼物は、南方交易を経て琉球王朝時代に諸国から伝わった陶器が独自の焼物に発展し、今の原型が生まれました。また琉球ガラスは、戦後の資源不足の折に、米軍基地で捨てられたガラス容器を再生したことから始まっています。それぞれの発生起源は異なりますが、沖縄で生まれた暮らしの道具には、その土地らしい温かな人情味が映し出されています。左藤さんのガラスは、ぼってりと厚みのある温かみが魅力的です。その原点は琉球ガラスの製造所での経験にあります。また松村さんは、南洋の流れを汲む焼締めに従来より取り組んできましたが、今回は琉球と繋がる三彩の器を中心に新作にチャレンジします。お二人とも沖縄在住の作家ではありませんが、むしろ自由に伸び伸びとした解釈の器をお届けできると思っています。暑い夏の到来に合わせて、どうぞ琉球の風を感じにご来店下さい。 うつわノート店主

松村英治 プロフィール

- 1970年 熊本県生まれ
- 1993年 アジア遊学
- 1997年 金沢美術工芸大学大学院彫刻課程修了
- 1999年 常滑市立陶芸研究所修了
- 2013年 現在、愛知県阿久比町にて製作

左藤玲朗 プロフィール

- 1964年 大分県生まれ
- 1990年 立命館大学文学部卒
- 1991～ 沖縄、長崎で硝子製作の修業
- 2001年 兵庫県にて独立
- 2013年 現在、千葉県長生郡にて製作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com

- 電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分、本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分 ●バス：川越駅東口3番乗り場 [小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
- 車：専用駐車場有 (25～28番)



料金後納
 ゆうメール

沖縄料理で楽しむ夏祭りナイト

川越の百万灯祭り(7/27,28)に合わせて、
 沖縄の定番料理を、松村さん・左藤さんの器でご提供します。

7月27日(土) 17:00～20:00

沖縄料理3品+ワンドリンク

参加費 1500円

20名様まで (予約優先/メール or 電話)

詳しくはブログをご覧ください。



三彩6寸皿/松村英治
 らふてい、ジーマミー豆腐、ミミガー



プレーンコップ/左藤玲朗
 オリオンビール



輪花小鉢/左藤玲朗
 海ぶどう